

平成20年度 府立東百舌鳥高等学校 学校評価報告書

1. 自己評価結果

項目	設定目標	自己評価
I	学校のPDCAサイクルの確立 * 学校教育自己診断や学校協議会等による評価を受ける。 * 上記に基づき改善点・課題を検討し次年度の目標を設定する。	PDCAサイクルの筋道はできたが、今後充実・改善していく必要がある。 * 学校教育自己診断結果を分析・検討した報告を生徒・保護者に返すとともにHPにも掲載。 3月の学校協議会で評価を受け、5段階評価で3.7。
II	第一希望の進路実現 * 教育課程の改定 * きめ細かな生徒指導 ・ 遅刻者数の減少、異装・茶髪をなくす。 ・ 教育相談の充実 ・ 人権尊重の教育の推進 * 体験を伴うキャリア教育の実施 * 補習・補講の充実	第一希望の進路実現については評価できるが、生徒指導については課題が残った。 学校教育自己診断によると86%の生徒(3年生)が「第一希望の進路が実現(含チャレンジ中)できている」と回答 * H21年度入学生より2年で数学Bを選択できるように改定した。 * 頭髪指導は達成できたが、遅刻者数の減少と服装指導の徹底は未達成 * 子育てサポートルームでの保育体験、1日大学体験(9大学)、分野別進路説明会(20の大学・専門学校)、模擬授業(36の大学・専門学校)等を実施 * 国社数理英で夏季・冬季休業中、2・3学期、毎週曜日を決めて等全学年で実施
III	学校行事・部活動の活性化 * 学校祭(体育の部・文化の部)の満足度UP * 部活動の入部率UP	当初の目標は達成できた。 * 「体育祭は昨年に比べて→良-60%、同-26%、悪-12%」 「あなた自身の文化祭への取組みは→良-85%、悪-15%」 (全生徒へのアンケートによる) * 部活動入部率17ポイントup(H19、25%→H20、42%)
IV	危機管理体制の整備充実 * 危機管理マニュアルの作成 * 全ての教職員がAEDの使用を含めた心肺蘇生法の講習を受ける。	当初の目標は達成できた。 * 生徒急病時の対応マニュアルを作成し配布した。(4月) * 心肺蘇生法(AED)講習を3回実施。延べ57名受講

2. 学校教育自己診断における結果と分析

3. 学校協議会における提言内容

* 実施対象 (教職員・生徒・保護者) ・ 12月初旬配布、12月末までに回収 ・ 1月～2月に結果の集計・分析 ・ 2月中旬 生徒・保護者へアンケート結果と分析を文書で報告 ・ 昨年と同一の質問項目については結果に大きな変化はなかった→「改善できなかった」と言える。 ・ 新しく設定した質問(本年度の学校重点課題関連)はまずまずの評価→課題を意識して取り組むことは有効である。	* 実施日 第1回(6/25) 第2回(12/4) 第3回(3/2) ・ 「子育てサポートルーム」の有効利用 ・ 学校ホームページの充実 ・ 自転車指導等マナー指導は保護者や地域と連携して ・ 東百舌鳥高校生としてのアイデンティティの育成を ・ リーダーシップを発揮できる生徒の発掘と育成 ・ 自分で考えることのできる生徒の育成
--	---